

韓国スタディツアー 4日目

本日は、全州での活動最終日。

午前中は自由行動でした。

仲良くなった北九州高専の人たちと学校近くのパン屋さんに朝ごはんを食べに行ったり、街を散歩したりしました



メニュー表にかかれた飲み物が何であるかわからず「イゲムオエヨ(これはなんですか)」と質問すると「Mochi powder」とのこと。

なんであるかはっきりしないまま注文してみました。きなこドリンクでした。

街にはたくさんの日本語を見つけることができます。飲み屋さんの並ぶ通りでは特に多くのお店の名前に日本語が使われていました。



(左) うまいと書かれた服を着てグリコポーズをするサルの看板



(右) くじらという名前の居酒屋さん

午後はハノクマウル(韓屋村)観光です

韓国は日本に比べてタクシー代が安いのでタクシーを利用することが多いです。

学校からハノクマウルへの移動にタクシーを使いました。



カカオタクシー。

運転手さんはとても気さくな方で「アンギョン(眼鏡)」という単語を教えてくださいました。なぜアンギョンを教えてくださいましたのかはわかりません。

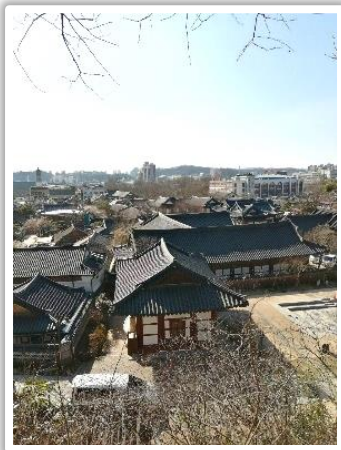
お昼は本場のビビンバをいただきました。

ビビンバには陰陽五行思想をもとにした善い人生のための指針である、
五方色(赤、青、黄、黒、白)が取り入れられており、中央には銀杏や、卵の黄身など
黄色の食べ物を置くそうです



よく混ぜて食べます。
器を持ちたくなる左手は
膝の上において
韓国スタイルで食べました。

ハノクマウルは韓国の伝統家屋がたくさんあるかつての王朝があった街です。
一見すると日本の伝統家屋と似ていますが、いくつかの違いがあります。
例えば屋根の上部が日本は真っ直ぐなのに対して韓国は少しそっています。
また、建物の高さは低めものが多くとてもかわいいです。

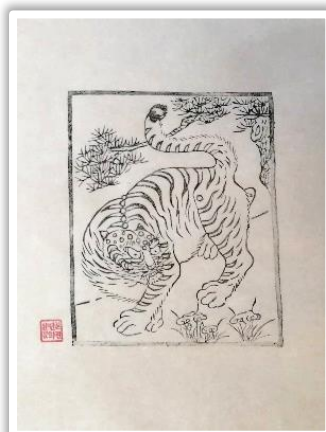
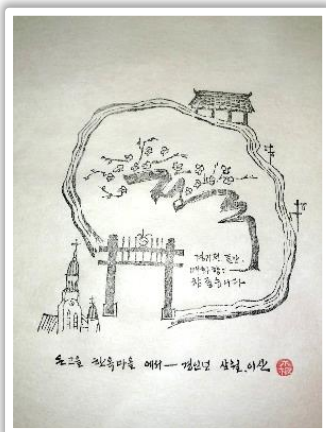


少しそった屋根が見えます。
高台から見下ろすと伝統家屋のあるハノクマウルと
西洋風の家のあるハノクマウルの外との境をととてもはっきりと見ることができます。

ハノクマウル見学のあと木版印刷体験をしました。

現存する世界最古の木版印刷物は韓国で制作された物だそうです。

韓国人は記録好きな民族だそうです、そのことが韓国の印刷技術の発展につながったのかもしれない。



(左)ハノクマウルをイメージした版。
左下にはハノクマウル入り口付近に
あるキリシタン教会と、
鳥居が描かれています。

(右)虎の版
厄除けなどの意味があります

晩御飯は全北大学日本語学科の学生と、カルグクスを食べに行きました
麺の細いうどんのような料理です。カルは包丁、グクスは麺を意味し、包丁で麺を切って作る様子からこの名前が付いたそうです。

大学生にカルグクス正しい発音を教えていただきました。正しい発音は「カルグッス」。
カはカラスの鳴き声のようにのどを開いて、グクスのクはほとんど聞こえず「ッ」のように発音するそうです。



この写真は大学生が食べていたカルグクス。
唐辛子パウダーをたくさん入れています。
のりの香りがしてとてもおいしかったです。

夕食後大学生と一緒にカフェに行きました。
とてもおしゃれなドーナツのお店です。Kpop や日本のボーカロイド、V チューバーの話で盛り上がりました。



私はレモンドーナツにジンジャーレモンティー。
中のクリームもレモン味でとてもおいしかったです。

全州での活動は今日まで。
大学生とお別れの時間です。絶対にまた会うことを約束しました。



韓国版プリクラ。
好きな小物を身につけて撮影できます。
日本のプリクラは強く加工されますが、韓国の場合ほとんど加工されません。
プリクラのお店はとてたくさんありました。
学校の前の通りでは、2分も歩けば次の店舗が見つかります。

明日は釜山に向かいます。